

平成 24 年 4 月 17 日

各 位

会 社 名 丸 八 証 券 株 式 会 社
 代 表 者 名 代表取締役社長 駒林 秀雄
 (J A S D A Q ・ コード 8700)
 問 合 せ 先 執行役員マネジメント本部 I R 担当
 山田 寿男
 電 話 0 5 2 - 3 0 7 - 0 8 5 0

平成 24 年 3 月期業績速報値に関するお知らせ

平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の業績につきましては、4 月 27 日に開示の予定ですが、速報値を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期の業績速報値（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 24 年 3 月期 (速報値)	2,688	379	345	325
平成 23 年 3 月期 (実績)	2,499	143	95	76
増減額	189	236	250	249
増減率 (%)	7.6	165.1	262.6	327.7

※金融商品取引業の業績は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、通常の業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であります。そのような状況において業績予想を開示することは投資家等に誤認を与えるおそれがあるため、当社は通常の業績予想を開示しておりません。それに代えて、四半期および通期の業績速報値を決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示いたします。

※上記の業績速報値につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は当該数値と異なる可能性があります。

2. 要因

(1) 営業収益の内訳は、株式等の委託手数料が株式市況の低迷により5億46百万円（前年同期比56.0%減）と大きく減少いたしました。投資信託の募集の拡大により、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料は12億43百万円（前年同期比112.5%増）、その他の受入手数料は投資信託の残高増加に伴い信託報酬が増加し2億32百万円（前年同期比32.2%増）となり、受入手数料の合計は20億23百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

また、株式等トレーディングは1億27百万円（前年同期比26.7%減）と減少したものの、外国債券の取扱い増加に伴い、債券トレーディングが4億74百万円（前年同期比112.7%増）と増加し、トレーディング損益は6億1百万円（前年同期比51.7%増）となりました。その結果、金融収益63百万円（前年同期比35.3%減）を加えた営業収益は26億88百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

一方、販売費・一般管理費の内訳は、人件費が12億46百万円（前年同期比1.1%増）と増加いたしました。コスト削減努力に加え株式等の委託手数料が減少したこともあり、取引関係費は2億37百万円（前年同期比6.0%減）、事務費は4億95百万円（前年同期比5.8%減）、不動産関係費は1億97百万円（前年同期比0.2%減）等となり、販売費・一般管理費の合計は前年同期と比べ45百万円減少の22億85百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

この結果、金融費用23百万円（前年同期比7.6%減）を差し引いた営業利益は3億79百万円（前年同期比165.1%増）となりました。

また、投資事業組合運用損18百万円、貸倒引当金繰入額17百万円等により営業外費用44百万円を計上する一方、平成21年12月に実施した通信取引事業の事業分離にかかる受取差額4百万円等により営業外収益10百万円を計上し、経常利益は3億45百万円（前年同期比262.6%増）となりました。

(2) 特別損失として投資有価証券評価損34百万円、特別利益として受取和解金、固定資産売却益等により23百万円を計上し、当期純利益は3億25百万円（前年同期比327.7%増）となりました。

以上